

研究協力をお願いについて

福井県立病院心臓血管外科では、下記の研究を行います。研究目的や研究方法は以下の通りです。この掲示などによるお知らせの後、臨床情報の研究使用を許可しない旨のご連絡がない場合においては、ご同意をいただいたものとして実施されます。皆様方におかれましては研究の趣旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

なお、この研究は、福井県立病院倫理審査委員会の審査を受け、病院長ならびに心臓血管外科長の承認を得て行っているものです。

1. 研究の対象

IgG4 関連炎症性腹部大動脈瘤に対する人工血管置換術の治療経験

2. 研究の目的について

炎症性腹部大動脈瘤は、動脈瘤壁の肥厚、大動脈瘤周囲ならびに後腹膜に広範に及ぶ線維化、十二指腸や尿管などの周囲腹部臓器との癒着を特徴とした動脈瘤です。

炎症性腹部動脈瘤の手術適応は、通常の大動脈瘤の治療適応に準じて、男性55mm、女性50mm以上が手術適応とされています。炎症により大動脈と十二指腸が高度に癒着していることが多く、外科手術に際しては十二指腸の損傷などの副損傷を引き起こす懸念があります。近年、腹部大動脈ステントグラフト内挿術による治療が行われ、その有用性が示唆され、本邦の治療ガイドラインでは炎症性腹部大動脈瘤に対する手術方法として、腹部大動脈ステントグラフト内挿術がクラスⅡaで推奨されています。

一方で、炎症性腹部大動脈瘤の半数以上は、病理組織学的にIgG4陽性であることが報告されています。IgG4関連炎症性腹部大動脈瘤に対する腹部大動脈ステントグラフト内挿術の治療効果については、懐疑的であるという報告が散見されます。

今回、当院で実施した炎症性腹部大動脈瘤に対する人工血管置換術症例の治療成績について、後方視的に検討し、学術集会・学術論文にて報告したいと思います。

3. 研究の方法について

2005年1月1日から2025年11月30日までに、IgG4関連炎症性腹部大動脈瘤に対して人工血管置換術を施行した13例を対象とします。その際の画像所見、治療成績を電子カルテのデータから情報収集します

4. 研究期間

研究承認日から 2028 年 12 月 31 日まで

5. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、画像所見、治療経過、カルテ番号

6. 外部への試料・情報の提供・公表

脈管学に投稿予定です。また、中間報告として、第17回日本IgG4関連疾患学会学術集会

(2026年3月7日から2026年3月8日まで)に発表予定です。

7. 予想される利益と不利益について

この研究はデータの調査だけを行う研究であり、この研究に参加しても患者さんに直接の利益はありません。

8. プライバシーの保護について

この研究にご参加いただいた場合、あなたから提供された診療情報などのこの研究に関するデータは、個人を特定できない形式に記号化した番号により管理されますので、あなたの個人情報外部に漏れることは一切ありません。

この研究で得られた結果は学会や医学雑誌等に発表されることがあります。このような場合、あなたの個人情報などのプライバシーに関するものが公表されることは一切ありません。

9. 研究組織

福井県立病院心臓血管外科

医長 鷹合真太郎

科長 西田聡

10. 本研究に係る資金ならびに利益相反について

この研究における使用機材や抗生剤などの使用薬を製造販売している会社（または関連機関）との間に利害関係はありません。

11. 研究への不参加の自由について

試料・情報が当該研究に用いられることについて、患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には、研究対象としませんので、2026年3月1日までに下記の問い合わせ先までお申出ください。

12. 研究に関する窓口

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究機関の名称：福井県立病院心臓血管外科

研究責任者：鷹合真太郎（福井県立病院 心臓血管外科 医長）

問合せ窓口：福井県立病院 経営管理課 倫理担当

住所：福井県福井市四ツ井2-8-1

電話：0776-54-5151（内2043・2047）